

## 平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会山口県予選会開催要項

- 1 主 催 一般社団法人山口県柔道協会
  - 2 主 管 周南市柔道協会
  - 3 後援予定 公益財団法人山口県体育協会
  - 4 日 時 平成27年6月7日(日) 受付：8時20分～9時20分  
開会式：9時30分 試合開始：9時45分
- ※計量(公式計量及び非公式計量)：平成27年6月6日(土) 16時00分～17時00分)
- 場所：徳山大学柔道場

- 5 会 場 徳山大学柔道場  
〒745-0801 周南市孝田町64-2 徳山大学総合グラウンド第2記念館  
TEL0834-28-9379

### 6 参加資格

- (1) 選手は日本国籍を有し、山口県内の住居者又は、在学者(勤務者)であること。
- (2) 選手は山口県柔道協会を通じて全日本柔道連盟登録者であること。
- (3) 年齢は、平成7年(1995年)1月1日以後、平成12年(2000年)12月31日以前の出生者であること。

※2015年中に15歳から20歳になる者。

### 7 体重区分

#### (1) 男子8階級

- ①55kg級 ②60kg級 ③66kg級 ④73kg級  
⑤81kg級 ⑥90kg級 ⑦100kg級 ⑧100kg超級

#### (2) 女子8階級

- ①44kg級 ②48kg級 ③52kg級 ④57kg級  
⑤63kg級 ⑥70kg級 ⑦78kg級 ⑧78kg超級

### 8 試合方法

- (1) 原則として、各階級トーナメント戦とする。
- (2) 国際柔道連盟試合審判規程で行う。(IJF審判規定決定版(2014-2016))
- (3) 試合時間は男女とも4分間とし、優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導」以上とし、得点・指導差がない場合は、時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。

### 9 服 装

全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下衣、帯)を使用すること。なお、「全柔連主催大会におけるIJF基準柔道衣(新規格柔道衣)の適用について(14.11.27)」による新規格柔道衣については、適用しないが、新規格柔道衣の使用も認める。(平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会においては新規格柔道衣の適用が決定されているので留意すること。)

### 10 参加料

- (1) 一人2,000円(但し傷害保険料含む) 当日会場受付で納入のこと。
- (2) 組合せ会議終了後、欠場した場合も参加料を徴収する。

## 11 表彰

各階級1位、2位、3位を表彰する。

## 12 出場資格

各階級1位、2位の者に、平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会の参加資格を与える。

## 13 参加申込

(1) 参加申込は所定の申込書に必要事項を記入し、原則として電子メールで申込むこと。(申込書のエクセルファイルは、各柔道協会、県柔道協会に電子メールでお求めできます。また、周南市柔道協会のホームページからダウンロードできます。)

(2) 申込期日は、平成27年5月11日(月)必着(以後の申込は受付けない)

(3) 申込先 一般社団法人山口県柔道協会

電子メールアドレス：yjk@c-able.ne.jp

電話・FAX 083-924-9510

〒753-0871 山口市朝田581-2

(4) 5月14日(木)までに受付書を返信するので、受付書が届かない場合は、5月18日までに申込先にその旨連絡すること。

## 14 その他

### (1) 組合せ等

① 組合せは、5月中に一般社団法人山口県柔道協会会議室において、大会役員立ち会いで行う。

② 大会には、無断で欠場しないこと。

(無断で欠場の場合は、次回大会に参加できないものとする)

③ 中国地区予選大会は、平成27年7月19日(日)島根県立武道館で開催される。

(2) 選手、指導者は下記の事項を遵守すること。

(脳震盪について)

① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること)

③ 練習開始に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面で事故報告書を提出すること。

(皮膚真菌症(トングランス感染症)について)

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会の出場ができない場合もある。